



歴史ある文化財が残る平勝寺。

あすけだより

特集 綾渡町 平勝寺

数多くの文化財が残されている平勝寺。今年は17年に一度のご開帳の年です。
そこで、綾渡の文化の保存や継承に取り組む平勝寺住職の佐藤さんの特集。

9・10月号

2025年

No.217



歴史ある文化財が残る平勝寺

・綾渡の夜念仏と盆踊

国指定重要無形民俗文化財(平成9年指定)、ユネスコ無形文化遺産(令和4年登録)

・木造観音菩薩坐像 国指定重要文化財(昭和12年指定)



平勝寺 HP

今年は8月10、15日に綾渡の夜念仏と盆踊り、10月24、25、26日にご開帳法要が行われます。今回は、文化の保存、継承に取り組む平勝寺住職の佐藤さんにお話をうかがいました。



平勝寺の佐藤さん(76)にお話をうかがいました。

自己紹介をお願いします。

佐藤^{いちどう}一道と申します。生まれは名古屋市で、家はお寺ではありませんでした。大学卒業後は民間企業に就職しましたが、長く心に留めていた"生と死"の問いを避けることができず、会社を退職し、尊敬するお坊さんのいるお寺へ行きました。

その後、昭和63年に平勝寺に来て、もう37年ほど経ちます。令和8年1月からは、後継者にお寺を引き継ぐ予定です。

平勝寺について教えてください。

平勝寺は860年ほど前にできたお寺です。平安時代末期に戦火によって消失しましたが、藤原、若尾などの豪族により再建されました。

元々の名前は檀独山^{だんどくさんだい}大悲密院^{ひみついん}でした。700年ほど前に、後醍醐天皇^{こうたごてん}の皇子である平勝親王^{へいしょうしん}が祈願され、その後、鳳凰山平勝寺と改められました。

綾渡の夜念仏と盆踊とはどのような行事ですか。

平勝寺境内で行うお盆の行事で、一年のうちに亡くなった方を弔います。夜念仏は静か

に念仏を唱え、盆踊は楽器を使わず下駄の足拍子だけで踊ります。

夜念仏と盆踊は江戸時代中期に始まったとされています。岐阜県南部や旧旭町などでも行われていましたが、今では綾渡だけで行われています。



夜念仏と盆踊

見どころを教えてください。

念仏と踊りという、"静"と"動"を兼ね備えているところが非常に魅力的です。亡くなったご先祖様と生きている私たちとの繋がりを再認識する素晴らしい機会だと思います。夜念仏と盆踊は、ここ綾渡だけで見られるというところも大きな見どころの一つです。

木造観音菩薩坐像とはどのようなものですか。

平治元年(1159年)10月25日に造られたヒノキ材の一木造りの観音像です。およそ860年も前のことですが、本体には造られた日付が詳細に記されています。

この観音像は、昭和12年(1937年)に国の重要文化財に指定されました。ご開帳の際に、ぜひご覧いただければと思います。

今年は17年に一度のご開帳の年ですが、どのように楽しんでほしいですか。

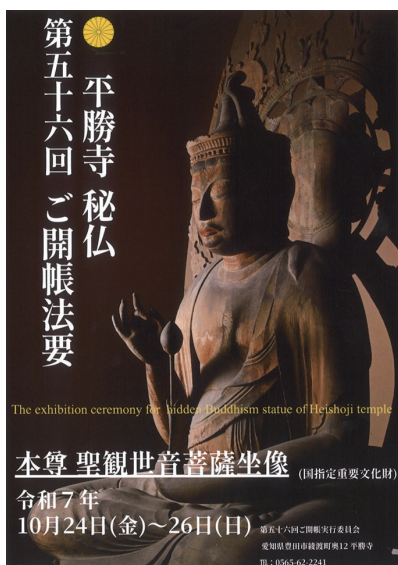
ご開帳とは、秘仏である木造観音菩薩坐像を拝むことができる行事で、17年に一度行われます。長く保存されてきた観音像に直面し平安時代の美術の素晴らしさと、これまで無事に守ってきた人々の努力に思いを致してほしいです。

豊田市内で、仏像部門では国の重要文化財に指定されているものは他にありません。歴史ある文化財を見て、魅力を感じ楽しんでもらいたいです。

子供や若者に向けた、文化継承の取組はありますか。

長年、綾渡から足助小学校に出張し、踊りを教えるという取組をしており、小学校の運動会でもみんなが踊ってくれています。

また、足助交流館で希望者を募って踊りの練習をしたり、毎年7月には平勝寺に集まってみんなで踊りの練習をしています。こうした取組を通して、次の世代へ文化を継承できればと思っています。



ご開帳のご案内



平勝寺

地域の歴史や文化をどのように伝えていきたいですか。

大切なことは、綾渡や足助、豊田の方たちが綾渡を愛することです。地元を誇りに思うことで、地域の歴史や文化は必ず伝わっています。綾渡には、夜念仏や盆踊りなど素晴らしい文化があります。地元の方々には「あなたが無形文化財の保持者です、誇りを持ちましょう」と伝えています。

いろいろ継承の方策はあると思うので、これからも考えていきます。しかし、やはり重要なのは方策ではなく、心だと思っています。自分のまちを好きになること、誇りに思う気持ちを大切にしてほしいです。

取材動画公開中！！

↓こちらから

市のHPの掲載リンクから、取材動画をご視聴いただけます。ぜひご覧ください！



綾渡には平勝寺や夜念仏と盆踊り、観音像など歴史ある文化財が多くあり、とても魅力ある地域だと知りました。この取材を通じて、自分の生まれ育った地域の歴史や文化についても理解を深め、地元を誇りに思う気持ちを大切にしていきたいと思いました。（足助支所 脇）

あすけ[☀]羅針盤

あすけ[☀]羅針盤は、足助地域会議委員が足助の魅力や地域の皆さんの元気な活動をお届けします。
令和7年度わくわく事業団体のうち3団体の活動内容を紹介します。

わくわく事業紹介

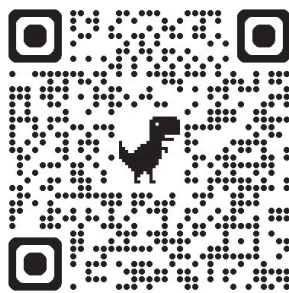
御内森づくり会議（代表：宮條 喬）

地域資源を活かし、子どもの可能性を広げる事業(申請回数：5回目)

- ・子どもたちが自然の中で様々な体験を通し、多様性に触れ、自己の認識や可能性を広げる機会を提供することを目的としています。また、地域住民と共に活動することにより、地域の文化や伝統、山の暮らしを次世代に伝えることも大切にしています。活動を継続する中で、対象は子どもたちだけではなく、大人も共に学ぶことができる活動と感じています。



モジャさんと森でおとあそびの様子



活動の様子



御内の山を楽しみ山を学ぶ様子

わくわく事業紹介

ほうえい ざ 農村舞台寶榮座協議会（代表：青木 信行）

農村舞台寶榮座を生かした文化による地域づくり事業（申請回数：9回目）

- ・築127年の歴史ある「農村舞台寶榮座」を核とした『芸術文化村』として怒田沢町を再生し、新たな農山村文化の創造的交流を推進することを目指しています。春の宴、三州足助太鼓、寶榮座歌舞伎、落語寄席などの公演を通じて地域内外の交流を促進しています。



春の宴の様子



寶榮座歌舞伎の様子



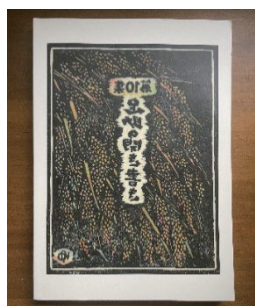
三州足助太鼓の演奏の様子

わくわく事業紹介

あすけ聞き書き隊（代表：浦野 友理）

足助の聞き書き第10集完成報告会及び朗読音声化事業
（申請回数：14回目）

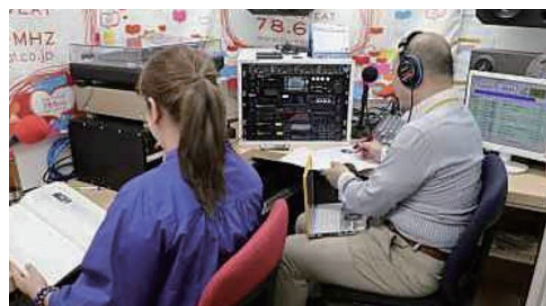
- ・足助で暮らしてきた先人の知恵や苦勞、次代に受け継ぐべき心や事柄を聞き書き作品として文章や朗読で記録し広め、郷土への愛着と誇りを育むことを目的に活動しています。
- ・完成報告会を6月28日に実施し話し手・聞き手の生の声を聞きながら、講師その他メンバー含め来場者の方々と有意義な時間を共有しました。また、聞き書き作品の朗読音声化も進めており、朗読音声を回想法に活用できないかと、新たな試みも行っています。



足助の聞き書き第10集



完成報告会の様子



朗読収録の様子

お知らせ

足助子育て支援センターであそぼう！

「足助って遊び場があるのかな？」って探している方、
「家ばかりじゃ子どもが飽きちゃうの」って思っている方、
足助もみじこども園併設の**足助子育て支援センター**に遊びに来ませんか？ 室内でゆったり遊べますよ😊楽しいですよ😊

利用時間 <平日> 午前9時～11時45分頃片付け

午後1時～4時45分頃片付け

<土曜日> 午前9時～11時45分頃片付け



（利用できる方は、こども園・幼稚園・保育園等、未就園のお子様のみです）

★毎月、楽しい育児講座や身体計測があります。身体計測は基本的に第1月曜日を予定しています。
身体計測日の午前中に各月で保健師さんや管理栄養士さんとおしゃべりできます。（相談もOKです）
9・10月の身体計測は、9月1日（月）10月6日（月）で予約不要です。

9月10月の育児講座の紹介（育児講座は豊田市在住の方のみ参加できます）

9月12日（金）「こども園ってどんなところ？」

9月19日（金）「親子食育講座～幼児食教室～」（1歳以上）

10月15日（水）「人形劇を楽しもう」

10月23日（木）「親子救命レスキューコース」…11月以降もいろいろな講座があります。

※申し込みは、豊田市 LINE 公式アカウントのメニュー左下「子育て」ボタンから

※足助子育て支援センターの育児講座の年間予定は、足助支所の玄関左側にも掲示してあります。

※問い合わせは足助子育て支援センターへ ☎62-1145（気軽に連絡してくださいね）



豊田市 LINE
公式アカウント



足助子育て支援セン
ターの二次元コード





～そうだ！



(社協足助支所)へいこまい

ボランティアさん大募集



なすびの会で畑作業のお手伝いをしてくださる方を探しています！
「誰かの役に立ちたい」「時間を有効活用したい」と思っていらっしゃる方は、
お気軽に問い合わせください。

～なすびの会とは？～

さんさんカフェの代表者と足助中学校特別支援学級の保護者が
立ち上げた団体です。障がいのある子どもさん達が畑作業やさん
さんカフェ（則定町）の運営をしています。

- 【 場 所 】 則定町の畑（2反程度）
- 【 作 業 内 容 】 野菜の植付、水やり、収穫、草刈り等
- 【 作 業 時 間 】 要相談
- 【 問 い 合 せ 】 社協足助支所ボランティアセンター（62-1857）



足助消防署からのお知らせ

「搬送訓練開始！！」

6月23日（月）香嵐溪での事故に備え、足助消防署と足助観光協会・三州足助公社・足助自治区・香嵐溪を愛する会・足助支所が合同で負傷者の搬送訓練を行いました。

資器材を使った担架の作成・搬送、徒手での搬送を行い、参加者全員汗だくでしたが、大変満足したと高評価の訓練でした。



足助警察署からのお知らせ



警察の相談ダイヤル# 9 1 1 0

～緊急電話は110番 相談ごとは# 9 1 1 0～



警察では、緊急通報のための専用電話である110番以外にも、犯罪等による被害を未然に防止するための相談や県民の方々の生活の安全と平穏に係る相談に応じています。

「昨日知らない男の人に声を掛けられた」、「身に覚えのない料金請求のメールが届いた」、「嫌がらせのメールが届いて不安だ」など、緊急性のない事件や事故の相談は

9 1 1 0 をご利用ください。

開設時間は月曜日から金曜日（祝日、年末年始を除く。）の午前9時から午後5時までです。

こんにちは！ 足助包括です！

加茂看護専門学校の学生が来ました！

加茂看護専門学校の看護学生が、今年の4月から6月にかけて毎月2名ずつグループを組み、実習に取り組まれました。

昨年から定期的に行っているおいでん便の出張相談に同行したグループもあり、お客様の生の声を聞き、普段の生活の様子に直に触れられる貴重な機会となりました。

スーパーまで行くのが困難であるという地域の事情において、おいでん便の果たす役割がいかに重要であるかを実感し、医療・介護・福祉に携わる立場の人だけでなく、地域住民の誰もが暮らしやすいまちづくりを支える一員となりうることが理解できたと感想を述べていました。

必ず看護師になるという誓いを胸に、清々しい表情で合計6名の看護学生が無事に2日間の実習を終えられました。



問い合わせ先：62-0683

ボランティアガイドと歩く ～塩の道あすけ～

- ・日 時：10月17日（金）
10時～正午
- ・場 所：足助の町並み
（集合は足助観光協会）
- ・定 員：先着 20 人
- ・その他：駐車代が必要
- ・申 込：9月10日（水）
午前9時から電話かFAX



三州足助ボランティアガイドの会
電話：080-8719-9876
FAX：0565-62-0424

茅葺き文化セミナー

休耕地を活用した「茅場再生」と 「茅葺き」への利用

なぜ今、茅葺きが注目されているのか？茅を「資源」として見直し、次世代へつなぐ道を考えます。休耕地をお持ちの方、ぜひご参加ください！

日 時：9月14日（日）13時～16時
場 所：足助交流館飯盛座（豊田市足助町）
参 加 費：無料
定 員：100名（先着順）
申し込み：右の申込みフォームから



『香嵐溪100年プロジェクト』を知っていますか？

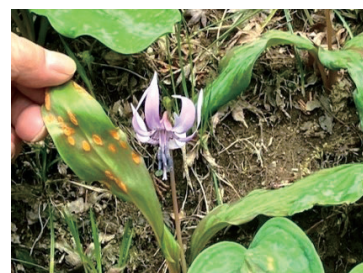
「香嵐溪100年プロジェクト」は、足助小学校5年生（平成30年度）のスローガン「私たちの願い、百年先も美しい香嵐溪を」を元に、先人から受け継いだ宝物（香嵐溪）を未来にも残そうと（株）三州足助公社、足助観光協会、足助支所と地域によって、令和元年から始めた活動です。

【活動紹介その1】カタクリの保全

近年、カタクリサビ病の発生、キツネノカミソリの浸食により危機的な状況です。

4月：カタクリサビ病に侵された葉摘み作業

5月・8月：キツネノカミソリの除去



カタクリサビ病に侵された葉

新 足助のもしもシリーズ 2

こんにちは Peri です！

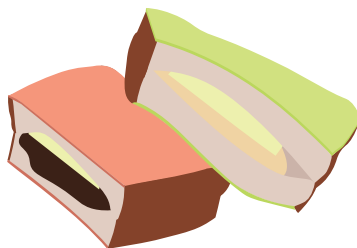
第二回目のテーマは **もしも足助にこんな食べ歩きグルメがあったら？**

特大！鮎にぎり



大きな鮎ともみじの
デコレーションが
インパクト大な
おにぎりです！

これぞ背徳感♥あんバターもなかサンド



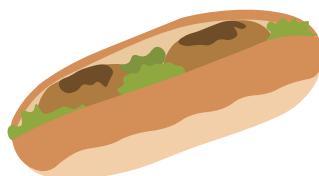
小豆と白あんの2種類！
最中でサンドした
見た目もかわいい
贅沢サンドです！

甘じょっぱい♥塩メープルの紅葉パン



メープルと足助塩が
たっぷり入った
甘じょっぱいパンは
やみつきになること
間違いナシ！

ザクザク！ジビエコロッケパン



豪快に食べたくなる
ザクザクコロッケと
シャキシャキ野菜を
挟んだコロッケパン！

足助の名スポット紹介

帰ってこられない洞窟 「岩谷観音」

冷田地区の岩谷観音には、かつて鬼が棲んでいたという伝説があります。岩穴の奥はひんやりと暗く、入ると出てこられないという噂があるとか。昔、この場所で子どもが岩穴に入り、姿が見えなくなったことがあったそうです。今では観音さまが祀られ、鬼はおとなしくなったといいますが、足を踏み入れる際はご注意ください。

あすけだより編集委員 松下萌

いわや かんのん

Googleマップ



いつもお読みいただきありがとうございます。今後もよりよい支所だよりをお届けするため、ご意見・ご感想・ご要望などいただければ幸いです。以下の連絡先へお気軽にご連絡ください。



人口と世帯数（令和7年8月1日現在）
人口 6,584人 世帯数 2,7328世帯
令和7年度合計 出生4人 死亡43人

発行：豊田市役所足助支所 〒444-2424 豊田市足助町宮ノ後26-2
電話：市民生活担当 ☎62-0600 地域振興担当 ☎62-0601
FAX 62-0606 ✉asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp